

2003年(平成15年)6月30日 第7号

杉並区立

西田小学校同窓会会報

発行者 杉並区立西田小学校同窓会

編集責任者 宇田川允敏

平成14年10月19日

母校創立60周年記念祭が
盛大に行われました

当日は晴天に恵まれ、快適な記念祭日和となりました。

午前中は学校主催の児童集会と記念式典が行われ、午後1時から同窓会が主催する祝賀会が行われました。

児童集会は9時から校庭に全児童が集まり、クイズ形式で西田小学校の60年の歴史を勉強していました。

その後、体育館に入り、同窓会提供のアトラクションとして、成宗囃子保存会によるお囃しを楽しみました。この保存会は、成宗(現在は成田東)の須賀神社に、子供たちが集まって練習しているのですが、その中に西田の6年生の和田かなめさんと、4年の浩一郎君の姉弟が入っているので、ぜひとも二人の郷土芸能の演奏を紹介したくて、特別にお願いしたものです。通常お囃しは6人でやるのですが、当日は保存会の配慮で笛、鉦の2人に8人の太鼓と10人でにぎやかに演奏してくれました。赤い毛氈に金屏風をめぐるした明るい舞台に、揃いのハッピーで勢ぞろいして、なかなか見ごたえ、聞きごたえのあるお囃しでした。なお杉二小、浜田山小の生徒が応援参加してくれました。

次は11時から12時まで学校主催の記念式典で、オープニングは児童によるハンドベルの演奏があり、校長先生の挨拶、来賓の祝辞のあと、杉並区からの記念品(校舎の全景と全校生徒の写真を印刷したプラスチックファイル)授与、同窓会会長挨拶、校歌斉唱などがありました。

午後は1時から同窓会主催の祝賀会が始まりました。

第1部は実行委員長(同窓会会長)西田会(先生方のOB会)会長、PTA会長などの挨拶、杉並区長、区議会、小学校校長会長の祝辞と型通りの硬いお話が終わり、第2部に入ります。司会はいつもの通り6期の山城・井上両理事にお願いし、乾杯の後お酒も入って興がのってきたところで、同窓会提供のアトラクションとして、お囃しと獅子舞が披露されました。大人の演奏の迫力のある笛・太鼓が館内に響き、獅子舞は舞台から下りてきて客のあいだを踊って、幸運や健康を呼び込むとして咬む真似をします。咬まれた人は喜んでご祝儀を獅子の口へ投げ入れます。

祝賀会の参加者は地域の方、西田会・PTAの方が84名、西田の先生方が24名、同窓会より61名、合計169名となかなか盛況でした。特に新たに会員になられた24期、27期の方が参加されたことが特筆されます。

最後は校歌斉唱、万歳三唱、同窓会副会長の謝辞で、無事すべての予定を終えることができました。

このように60周年の記念祭を盛大にお祝いできたのは、地元商店会、町会、西田会、PTA、先生方、それに同窓会で祝賀会に出席された方、ご寄付を頂いた方と理事の皆さんのご尽力の賜物として、皆様の西田に対する厚いご支援に感謝致します。(会長)

なお、詳細については、添付の「第2回世話人会議事録」にも報告しておりますので、御覧ください。

同窓会よりの参加者(敬称略)

1期 志甫哲夫 古谷昌資 新庄市朗 井口和雄 大西秀男 岩波伸子 石井紀子 2期 田村晋一郎 和田須美子 佐久間俊治 3期 中部恵美子 菅卓二 花崎覃 土屋忠夫 藁美紗子 宇田川允敏 山内敦 4期 唐木宏 小林貞夫 服部正 5期 志甫溥 田島孝子 荻野弘子 朝山若葉 西野喜久子 内田菊枝 広瀬武司 中村道敏 6期 山城和徳 井上正之、牧野克彦、宮崎浩、新藤一朗、7期、中村昭、宇田川一浩、永田澄子 8期 渋谷好重 9期 柏木謙治 矢代捷、11期、志田設子 高橋優香子 12期 松浦千尋 13期 黒田実 野口杉男 15期、宇田川茂之 16期 吉川文子 17期 田辺恵一 18期 島田真理子 坂本正夫 19期 岩城倫子 栗田恒雄 松井栄子 24期 中野真木郎 清水信昭 27期 酒井利治 小谷知久 38期 田村奈緒子 PTA 飯島京子 町会 小川隆次郎 田中健一

西田小同窓会世話人会が開かれました

新しい会則により昨年より行われることになった、同窓会総会の代わりとなる同窓会世話人会が、6月21日に開催されました。詳細は添付の「第2回(平成15年)西田小学校同窓会世話人会議事録」の通りです。

今回のポイントは、会長など役員交代でしたが、土屋副会長の「各期同窓会の代表者の皆さんへ；西田小全校同窓会へのご協力をお願い」で述べられているのが現状として、同文は世話人会議事録にも入っておりますが、各位の格別のご理解を得るために、会報にも収録致しました。会員各位のご協力を是非ともお願い致します。

各期同窓会の代表者の皆さんへ

同窓会会長 宇田川允敏

西田小全校同窓会へのご協力をお願い

副会長 土屋 忠夫

当同窓会も発足以来 11 年目に入っています。昨年の西田小の 60 周年記念行事には、会員各位の寄付金等により、学校に対して記念誌発行費用、及び運動会用テント購入費の一部負担等で、貢献することができました。会員各位の変わらぬご支援に感謝する次第です。また、同時に行った同窓会主催の懇親会も、まずまず成功だったと思います。

本年からは、昨年改定された同窓会規約に沿って、2007年の同窓会総会(主として懇親会)及び 2012 年の西田小 70 周年記念行事まで、同窓会を維持し発展させることが、世話人会、理事会の役割となっております。

これまでの経験で小学校の同窓会の運営は、その意義付け一つとっても極めて難しく、現在でも暗中模索のままで、常々行われる理事会での議論の結果は、折角作った会を何とか継続して行こうと思ひ直すことで締めくくられています。

一方、学校とは親身一体となっていて、毎年の入学式、運動会、卒業式など全ての行事に招待され、同窓会の存在は意義あるものとなっています。

同窓会には現在色々な問題がありますが、突き詰めるところ、向こう 10 年間の活動を支える役員の確保が最も差し迫った課題です。同窓会創設以来、役員の確保が難しく、過去 10 年、5 期（1 期の任期は 2 年）にわたり現役員の留任継続が余儀なくされて来たのが現状です。このままの状況では、これから 10 年の同窓会の存続すら危うい処に来ていると思います。

今回の理事会では、取りあえず 10 期生から 29 期生までに焦点を絞り、各期から世話人と理事を出して頂くプロジェクトを、今から 1 年をかけて進める事としました。

世話人には年に一度の定例世話人会に出席頂くこと、理事には年に 2-3 度の理事会に出席願う事とし、少しでも役員の負担が軽減されるように配慮しています。現役世代には同窓会どころではない局面もあるとは思いますが、西田小同窓会のために、一肌脱いで頂きたいのです。

今回、理事会の中からこのプロジェクトに対する担当を下記の通り任命し、各期毎のきめの細かいコンタクトをさせて頂きましますので、よろしくお願いしたいと思います。また平行して、会員数の少ない期への会員勧誘もさせて頂きましますので、併せてご協力下さい。

10-14 期担当 荻野弘子理事（5 期生） 〒167-0051 荻窪 3-44-3 ☎ 3391-6130

メール： ttn833z27g@mx4.ttcn.ne.jp

15-19 期担当 中村昭理事（7 期生） 〒167-0051 荻窪 3-6-4 ☎ 3391-0505

メール： 0143443201@jcom.home.ne.jp

20-24 期担当 渋谷好重理事（8 期生） 〒167-0051 荻窪 1-52-16 ☎ 3391-6711

メール： y-shibu@abox6.so-net.ne.jp

25-29 期担当 土屋忠夫理事（3 期生） 〒167-0051 荻窪 3-4-12 ☎ 3398-8585

メール： to-be-tsuchiya@m2.nnf.ne.jp

つきましては、各期の中でのクラス会や松溪中学のクラス会の名簿などありましたら、上記の理事または各期担当のまとめ役の方にご提供下さい。名簿整備に大変な助けになります。皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。

同窓会のホームページにアクセスしよう！！

3 期生の土屋理事がホームページの現況報告（世話人会議事録を参照して）をしておりますが、同窓会としても皆様のご期待に沿うべく、順次内容を充実させる努力をしております。ホームページのアドレスは

<http://www.nishitashou-dousukai.com>

です。一度試しにアクセスしてみてください。

また、西田小にもホームページがあります。アドレスは

www.nishita-e.suginami-tky.ed.jp

です。

また、杉並区役所にアクセスして、その施設案内で学校が出てきますから、西田小をクリックすれば西田のことが見られます。一度試して下さい。

同窓会活動報告 (平成 14 年 - 15 年)

- 6月 18日 第3回 60 周年実行委員会開催
- 19日 14 年度第1回学校評議員会 (会長が評議員)
- 9月 18日 第4回 60 周年実行委員会開催
- 10月 9日 第5回 60 周年実行委員会開催
- 13日 第53 回同窓会理事会開催
- 19日 西田小創立60周年記念祭開催
- 11月 11日 第6回実行委員会開催 記念祭の総括、会計報告
- 16日 学習発表会 (昔の学芸会です)
- 3月 4日 学校評議員会
- 25日 第60 回卒業式 92名卒業し、同窓会入会者は 30 名 (会長出席)
- 4月 7日 入学式 ビカビカの一年生89名が入り、全校児童数521名、全1.6学級でスタート (会長出席)
- 5月 10日 第54 回同窓会理事会
- 25日 運動会 (会長参加)
- 6月 7日 第55 回同窓会理事会
- 21日 同窓会世話人会
- 26日 学校開放日 (昔の父兄参観日です。1-4年までは沢山母親が来ているが5-6年ではほとんど来てない)

会計報告・予算案 については
同封の世話人会議事録をご参照ください。

会員動向 (順不同、カッコ内卒期、60年記念祭の出欠ハガキで頂いた分)

今回は多数のお便りを頂きましたが、紙面の都合で割愛させて頂いたものがありますが、ご容赦下さい。

- ・桑原元茂 (7) 昨年会社を辞め悠々自適です。懐かしい生徒歌、校歌の歌詞をご恵送ありがとうございました。私が”生徒歌”と申したのは第二校歌の「西田の丘の歌」のことでした。私たちは昭和25年卒でしたので、いつも西田の丘の歌を歌っておりました。とても懐かしいのです。小学校と同窓会の繁栄を願っております。
- ・古谷昌資 (1) 印刷会社に46年間勤務。この間デミング賞 (品質管理) を受賞しました。今、ISO-2000の審査員やコンサルタントをしています。
- ・佐々木美枝子 (15) 懐かしいです。西田町周辺、田んぼ、よく溢れた川。杉並を離れてもう36年。ゆっくり歩いてみたいです。
- ・武田千枝子 (4) 創立60周年おめでとうございます。杉並第二小学校から二年の時に友人達と徒歩で校庭までやって来た第一日目を今もはっきり覚えています。(忘れっぽい私にも不思議と記憶されている光景です)。更なるご発展を念じています。
- ・高橋裕文 (32) 都合で祝賀会は欠席しますが、父 (4期) 兄 (30期) 共々 元気です。
- ・深尾正子 (西田会) 西田小の発展を側面からご支援頂きありがたいことと思っております。私も70を半ば過ぎ元気でおります。同窓会の益々の発展を祈っております。

- ・川元千明（6）この秋より3か月の予定でイタリアの音楽セミナーに参加、正月をまたいでフランスの友人宅で約2か月滞在勉強の予定です。盛会を祈ります。
- ・阿見照美（3）退職し、読書旅行など比較的のんびり過ごしています。
- ・工和子（3）創立60周年おめでとうございます。畑の中の 校舎建設予定地の太い木の柱が立っていた風景が思い出されます。
- ・矢内花籠（3）高校同窓のグループで体を動かすことに努めています。その他色々の会に出席して人との接点を保つことに心がけています。独り暮らしも達人の域に達したのではと自画自賛しています。
- ・久保寺玲子（1）創立60周年おめでとうございます。おかげさまで元気で三人の孫の世話に追われています。
- ・大橋康江（33）西田小2年のPTA 会報で同窓会の存在を知りました。親子2代で母校となる祝賀会に参加したいのですが、下の子がまだ手がかかるので残念ながら欠席します
- ・三島千春（54）現在高三。受験勉強真っ最中です。
- ・佐々木健人（54）現在高三、付属高校のため受験勉強がなく比較的のびのび過ごせます
- ・林真紀子（19）コントラクトブリッジというトランプゲームが冬の五輪の種目として候補に挙がっています。この2月宣伝を兼ねたデモンストレーションのため、世界ブリッジ連合からの招待でソルトレークシティへ行ってきました。
- ・辻りこ・いずみ（56）現在マレーシアのクアラルンプールに在住してます。
- ・佐久間俊治（2）日本野鳥の会で環境保全運動の一環として” アジア地区絶滅危惧種”の翻訳作業をしています。西田小で” 鳥の観察会” などやればお手伝いできると思います。
- ・高橋偉泰（4）定年にて仕事も息子に任せ、石原都政のもと、社会参加推進委員と明るい社会を造る文京区民の会にて子供の健全育成のお手伝いに励んでおります。
- ・翁村和男（2）昨年会社役員をやめ、今は主として海外の建築設計の仕事をしており、半年は海外にいます。
- ・大石和男（6）台湾台北にいます。一時帰国の時期とタイミングが合わず、祝賀会に出席できないのが残念です。
- ・松岡美樹子（58）中学の部活としてテニスを頑張ってやっています。
- ・藤森成美（50）大学4年となり、卒論に取り組んでいます。W杯ボランティアをしたり児童文庫を開設したりとボランティアに精を出した学生生活でした。
- ・翁村佳男（5）同期の樋口君に続き吉原佳子さんを失って寂しくなってきました。
- ・川野薫（17）娘二人も同窓生（48,53 期）です。60周年をお祝い申し上げます。
- ・佐々木麻美（49）幼稚園の先生をしています。
- ・杉原素子（12）栃木県大田原市にある国際医療福祉大学の教授として、高齢化社会で必要とされる専門職（13の国家資格）を育てています。



西田小

学校通信

- ♠ 西田の教育 [目標]
- ♥ ◎考える子 (重点目標)
- ◆ ・助け合う子
- ♣ ・たくましい子

明日から見るか 昨日から見るか

教頭 吉 野 一 己

私は、担任時代に気をつけていたことがあります。それは意識して昨日（子どもの実態）から子どもを見るということです。教師は、常に子ども達をより良く、もっともっと伸ばしたいと考えています。そのため子ども達を明日（理想の姿）から見てしまいがちになるからです。たとえば、朝会時の集合が遅い→並んで待てない→列が曲がっている→おしゃべりがある→間隔が狭い→下を向いている→集中していない等々、一つできるとすぐに次を求めてしまいます。

このように、大人は子どもを見ると、明日から見てしまうことが多くなっているように思います。願いが強ければ強いほど、明日から、言い換えれば大人の期待から見てしまいがちなのではないのでしょうか。「こうなってほしい」という願いを持つのは、親ならば、

当然のことです。しかし、いつもいつもそういう見方をされると、子どもはどうなるでしょう。がんばってもがんばっても、大人の期待には応えきれないのです。明日はいつまでたっても明日です。大人も「まだ足りない、まだだめ。」と不満が残ります。これは、お互いに不幸な状況ではないのでしょうか。たまには、昨日（以前の姿）から見てみませんか。

進級して2ヶ月が過ぎました。お子さんは、新しい学年に慣れたのでしょうか。「もう〇年生なんだから」という気持ちを持たせることは大切です。でも、周りがそれを連日連呼することはどうでしょうか。去年の今頃のお子さんはどうだったのでしょうか。

多少の波はありますが、子どもは日々伸びています。確実に成長しています。結果のマイナス面（できなかった）に目を向けるだけでなく、成果（できた）及びそれに向けての意欲や態度を評価することで、子どものやる気を引き出していきたいものです。

☆吉野一己（ヨシノ イチキ）先生は、前任の村井恒教頭先生の後任として区立高井戸第二小より教頭に昇格されて着任されました。

☆また、井上潔（イノウエ けつ）先生が区立板橋小より「主幹」として着任されました。

平成15年度 教職員の異動一覧

〈退 職〉	教 諭	原口 尚子	
	嘱託教諭	大内 壽恵磨	
〈転 任〉	教 頭	村井 恒	八王子市立横川小学校へ
	教 諭	萩原 俊一	国分寺市立国分寺第十小学校へ
		遠藤 結花	三鷹市立北野小学校へ
		松崎 慶子	育休代替を終了
		関 紀子	時間講師を終了
		行山 千鶴	時間講師を終了
		平野 美由紀	時間講師を終了
〈着 任〉	教 頭	吉野 一己	杉並区立高井戸第二小学校から
	教 諭	井上 潔	杉並区立馬橋小学校から
	嘱託教諭	佐々木 幹夫	杉並区立杉並第二小学校から

村井教頭先生より転任に当たり「ありがとうございました」

公園の中にあるような西田小学校。一周すると、いろんな木があり、花が咲いていまし

た。池には大きな鯉が泳いでいて、自然の良さをいたるところで感じ取れる、すてきな学習環境の学校でした。その中で西田の子は、心を温かくふくらませて育ててほしいと願っています。私は3年間職務についておりましたが、たくさんの方のご理解とご協力を頂きました。地域の方、保護者の方、PTA役員、おやじの会の皆様、本当にありがとうございました。（学校通信5月号より）

平成15年度

教 職 員 一 覧

杉並区立西田小学校

校長：板澤撰一 教頭：吉野一巳									
学年	1組			2組			3組		
1年	山川政志			寺崎礼子			太田直子		
2年	高橋早苗			川越理絵					
3年	相澤實味子			竹内典子			岸塚雅雄		
4年	矢野 緑			高倉慶子					
5年	井上 潔			大澤晴久			高久晴子		
6年	金田奈可子			青山光一			林久美子		
専科	音	岡 千 恵		図	小田和宏		家	鈴木早美	
養護	岡本敏子		嘱託		佐々木幹夫		講師	正田耕司	
事務	真部真由美・柴田真澄・阿部 幸(嘱託)								
用務	塩留優子・金子隆紀				栄養士		酒井寛子(嘱託)		
調理	稲葉雅子・大塚 実・児玉英樹・鷺尾静子 野辺裕子・青木初穂(嘱託)・藤野喜美子(嘱託)								
学童擁護	越智留子・石塚栄一・浅葉盛和・山口千代治・羽山治美								
施設管理	伊佐邦康・石川直哉								
施設管理パート		菅谷朋弘・田代文男							
内科	藤多和義		眼科	佐藤 渡		耳鼻科	藤多恒子		
歯科	中島 一郎		薬剤師	山田孝江					

今年（平成15年 第60期生）の卒業生の進路

都内の公立中のうち、松溪中に男子 29 名、女子 24 名。区内他中学に男子 4名、女子 1 名。区外中学に女子 1名。都内国立中に男子 3名、私立に男子15名、女子10名。都外公立に男子 1名、女子 3名。それに海外の中学に 1名入学し、合計で 92 名です。

西田小の校歌は三つ

西田健児の歌

1. もよはなぐしのーかがやきて
2. ときこそせんじーわがぐくら

ふじのしゅうれい うもわしぐ
くににさげるこのからだ

にみたーけんじは はつらつと
のぞみは たかしー だいとうあ

きたえよ ねーれよ だゆみなくこう
くさひす かーげね みこくとしこう

えい こうー えい おおにしだ
えい こうー えい おおにしだ

▲西田健児の歌 (第1校歌)



東京都杉並区立
西田小学校 校歌 恩地孝四郎 作詞 芝裕久 作曲

Moderato

1. みやこのにしよ しーりはしげ
2. のうしきょうも このまなびや
3. こころはきよく このぜみはたか

う かぜ さえに おい てさ わーやかつ
に つく えをなら べ てら えーとつ
く ひご とに はげ め て ひ とーのよ

に れい どの か でと り のく ニー え しす
みの その み もつ と た つー く ちゃん

る われ ら はま な が にした のおか
にと われ ら はま な が にした のおか

の みど り い ら こ き ま ど べ に て
の さが す ん わ た る せ の に た ら
か が く の ぜ ろ ひ う び う と

西田小の校歌が三つあることは皆さんも御存じですので、ここに並べてみました。

「第一校歌」は「西田健児の歌」
「第二校歌」は「西田の丘の歌」
「第三校歌」は現在歌われている
「西田小学校 校歌」ですね。

「西田健児の歌」は太平洋戦争のまっ最中の昭和17年に開校した西田ですから、“時こそ戦時国に捧げるこのからだ”などと軍国主義の内容でした。

しかし、西田にはこの頃としては珍しいグランドピアノがあった

西田の丘の歌 (第2校歌)	
(1) 美しき 西田の丘に	(2) 新しき 大空高く
輝ける 緑の木々は	白雲は 希望を乗せて
そよぐ そよぐ	飛ぶよ 飛ぶよ
ははえみて、大平ふって	胸をはり、ひとみ上げて
ゆたかに 学べと	光を 浴びよと
そよぐ そよぐ	飛ぶよ 飛ぶよ

※昭和22・23年ごろの作詞 (西田小文化部作)

て、西田っ子の誇りでした。このピアノは残念ながら空襲で焼けてしまいました。戦争が終わって平和になった昭和22/23年頃、新しい校歌「西田の丘の歌」が作られ、10期くらいまでの卒業生の頭にしっかりと残っているようです。

そして、創立10周年の昭和27年に、当時のPTA会長の恩地孝四郎さんの作詞、芝裕之(はつゆき)さんの作曲で、今唱われている“みやこの西よ…”の校歌ができたのです。

すばらしい名曲ですから、西田小と共にいつまでも唱い続けられることを祈ります。

— 60周年記念祭へのご寄付のお礼 —

昨年の会報6号で、母校の60周年記念の祝賀会に、同窓会として110万円を拠出するとして、会員各位からのご寄付をお願いしましたところ、会計報告にもあります通り、なんと、一挙に目標額の90%を越す1,004,327円(会費を含む)も浄財が集まり、会員各位の西田小と同窓会への厚いご支援に理事一同感激しております。ありがとうございました。以下にお名前を記載して感謝の印にさせていただきます。(敬称略)

(1期) 志甫哲夫 唐木三夫 古屋昌資 新庄市朗、渡辺英子 大塚順子 井口和雄
下田修 神山英子 大西秀男 山岸都 岩波伸子 石井紀子 (2期) 富永誉
佐久間俊治 中田忠勇 秋山幹雄 田村晋一郎 詫摩博信 齊藤穰 和田須美子
(3期) 裏美紗子 後藤真弓 矢内花籠 宇田川允敏 山内敦 阿見照美 菅卓二
花崎覃 土屋忠夫 中原裕子 関敏子 北岡靖博 中部恵美子 岡本恵祐 林英之
(4期) 野村一男 大桃洋一郎 金井幹子 服部正 高橋偉泰 石川芳子 武田千枝子
中村隆子 (5期) 中村道敏 三浦靖子 広瀬武司 西野喜久子 井上潤 志甫博
萩野弘子 朝山若菜 内田菊枝 (6期) 三辺喜和子 菅浩三 川元千明 野村幸男
宮崎浩 新藤一郎 川上雅子 井上正之 (7期) 萩原新三 中村昭 桑原元茂
宇田川一浩 宮本和代 井原艶子 永田澄子 明石郁子 橋本照彦 (8期) 水沢欣子
渋谷好重 (9期) 宇治川多嘉子 矢代捷 倉本英子 柏木謙治 (10期) 河西宏和
木田拓郎 梅本吉彦 (11期) 志田設子 高橋優香子 (12期) 野口香代子 杉原素子
松浦千尋 渡辺正子 檜枝光太郎 宇田川光男 (13期) 東條巖 中村淳子 渡辺浩志
(14期) 山崎素哉 秋山葉子 (15期) 島田肇 宇田川茂之 (16期) 矢代 哉 石川恵子
吉川文子 (17期) 齊藤由利子 田辺恵一 (18期) 島田真理子 坂本正夫 (19期)
林真紀子 松井栄子 後藤隆一 落合昭子 (21期) 野口隆司 塚原英治 (22期)
林保之 (24期) 飯島正之 竹山和男 染尾正子 西海良子 清水信昭 福代茂
上岡淑子 中野真木郎 (25期) 木下佳子 (27期) 酒井利治 小玉陽一 新庄肇
小谷知久 飯島裕之 中野守久 (31期) 井口浩次 (32期) 大橋康江 (33期) 村瀬優
子 (38期) 田村奈緒子 (51期) 伊賀崎賢也 (56期) 和才恵里奈 (57期) 吉村英才
(59期) 岡田裕哉子 小林知幸
以上132名

♥これだけ沢山のご寄付を頂きながら、さらにご寄付をお願いするのは、誠に心苦しいのですが、同窓会は会員各位の浄財で賄われておりますので、本年度分として応分のご厚志を頂ければ幸いです。(勝手ながら振替用紙を同封させて頂きました)

〈会員投稿〉

西田小学校 初代校長 山際利武先生

同窓会副会長 土屋忠夫(3期生)

半世紀以上経った今でも、笑顔のすばらしかった山際先生の印象は強く残っている。個人的には特に校長先生から薫陶を得たわけでもないのですが、あるいは初代PTA会長をつとめた父の、日常のインプットが大きかったのかもしれない。父は先生を非常に尊敬していた。何時か先生について書いてみよう、と思ったことがあったがそのままになっていた。先生に関する資料が幾つか集めてあったので、材料不足ながら一文にまとめ、会報に載せ

る事とした。これによって同窓会の会員から色々な話が聞けるようになれば良いと思う。



先生が西田におられたのは、昭和 17 年の開校から 21 年 3 月までである。左の写真は、昭和 21 年の 3 期生の卒業写真の一部で、校長先生が右端に写っている。(先生の左が担任の山岸義一先生、前列左端が筆者) 昭和 21 年とは終戦の翌年であるが、先生は、この年の 3 月に来日した米国教育使節団の日本側の協議委員会のメンバーに選ばれ、その 4 月に永田小学校に校長として移られた。その後、使節団は同校を日本の小学校教育の典型例として取り上げたといわれる。

この米国使節団は戦後の日本の小中高の学校教育の大筋を決めた重要な役割を果たした。マッカーサー応援団とも、米国ですでに決められていた方式を使節団が持ち込んで、協議という形式だけをとったものだとか後世になって言われているものだが、時代の肝心な局面であったことは間違いない。先生がこの動きの中でどのように行動されたか記録は見つからない。然し当時空襲で焼失した校舎もなかった西田小から、国レベルの要職に飛び込んで行かれた先生を思い起こすのは大切なことと思うし、今になれば先生から当時の様子を伺ってみたいと思うほどである。PTA 制度は米国流変革の目玉の一つであったが、父が西田小の初代 PTA 会長になったのも山際先生の影響があったかもしれない。

翌年 7 月の西田小の再建校舎の落成式に山際前校長も来られ、先生も私の父も記念写真に収まっている。

話は変わって、今私は西田小の周りの鎌倉街道について調べている。同窓会のホームページの「善福寺川シリーズ」に掲載する原稿を書くためだが、古道を調べて行くと、その土地の史跡を見つけるための切り口に行き当たることが多い。鎌倉街道を調べて行くうちに、つい近隣を離れ、遠く信州の塩田城址まで手を広げてしまった。13 世紀、鎌倉で北条氏が栄華を極めた頃、はるか北の信州の塩田平は塩田北条氏の治めるところで、塩田城は北条氏の居城であった。

山際先生は塩田城址近くの長野県小県郡の塩田村(旧地名)の出身であった。私達が戦争中集団疎開で別所温泉に行っていたころ、5 年生のクラスで別所から近い塩田村の山際先生のご実家をお訪ねしたことがあった。その時の記憶は明確には残っていないが、木の塀のあった大きな家であったような気がする。

当時、先生が高名な学者を輩出した一族であると聞いていたので、最近になって調べてみると山際勝三郎氏(1863-1930)に行き当たった。氏は上田藩士の三男で東大を卒業、ドイツに留学、フィルヒョーに師事、東大教授となった明治から大正にかけての高名な病理学者であった。ペストなどを調べ、研究誌「癌」を創刊。ウサギの耳にタールを塗り、世界で初めての発ガン実験に成功した。死後山際財団が創設されたとある。つい最近まで、私も化学物質の生体への影響問題に取り組んでいたもので、興味のある話であった。

(会報第 7 号終り)